

令和7年度山梨大学医学部看護学科 学校推薦型選抜Ⅰ試験問題用紙

小論文Ⅰ

問 下記を読み、気くばりとお節介の境界線がどこにあるかを述べ、あなたの考える気くばりとは何かを600字以内で記述しなさい。

世の中には、気くばり上手な人と、そうでない人がいますね。
気くばりは、どのようにすれば、自然にできるようになるのでしょうか。

私自身を振り返ると、子どもの頃——父が読もうとしているタイミングで新聞を持っていくと、父が笑顔になって「よく気がきくね」とほめてくれ、頭を撫^なでてくれたのが、最初の記憶です。

また、母が仕事で遅くなるときにご飯を炊^たいておくと、仕事から急いで帰ってきた母が「ありがとう」と喜んでくれる。

私はそんなことを、すごくうれしく感じていた子どもでした。

それから、「気くばりをすると、相手に喜んでもらえる。それは自分にとってもうれしいことだなあ」と感じて、行動するようになったのです。

(略)

そのように気をつかっているうちに、私は、自分が何をすれば、どのように動けば今、一緒にいる人に、喜んでもらえるだろうと考える子どもになりました。

やがて、会社^{つと}に勤めるようになると、職場で先輩が薬を飲もうとするのを見ては、お水の入ったコップをサッと持っていく大人になっていました。

とにかく、自分が何かすることで他人に喜んでもらえるのが、私にはとてもうれしく、喜びになっていったのです。

そんな中、ある日先輩に「**あなたがやっていることはつらいわ、気をつかわれすぎて、こちらが疲れる**」と言われてしまいました。喜んでもらえると思ってやっていたことが、反対に嫌だと言われたことが、本当にショックでした。

出典：岩下宣子（2018年）『心が「ほっ」とする小さな気くばり』（王様文庫，株式会社三笠書房）より抜粋

受験番号

UM

令和7年度山梨大学医学部看護学科 学校推薦型選抜Ⅰ試験問題用紙

小論文Ⅱ

この図表は、文化庁国語課が令和6（2024）年3月に全国16歳以上の個人を対象に実施した「国語に関する世論調査」の結果です。以下の問いに答えなさい。

【問1】図表から読みとったことを100字以内で記述しなさい。

【問2】この図表からどのようなことを考えますか。500字以内で記述しなさい。

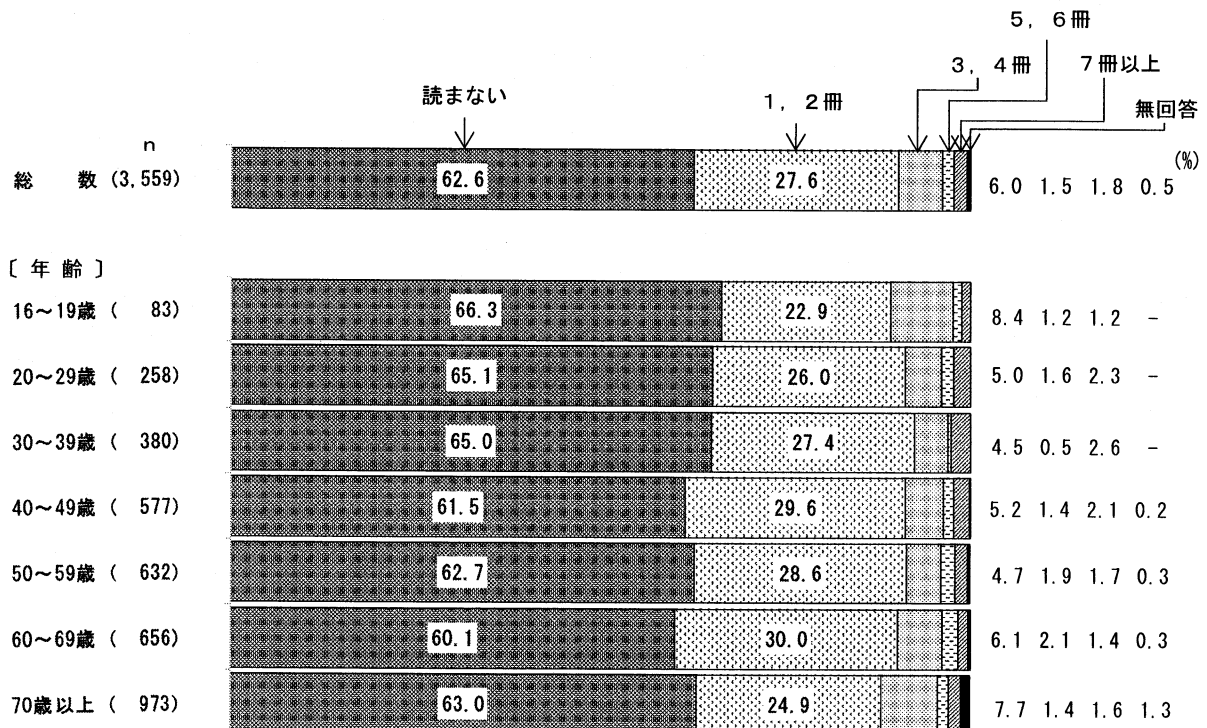


図 1 か月に読む本の冊数（年齢別）

（参考：過去の調査結果）表 1 か月に読む本の冊数

	n	読まない	1, 2冊	3, 4冊	5, 6冊	7冊以上	無回答	分からない
令和5（2023）	3,559	62.6	27.6	6.0	1.5	1.8	0.5	
平成30（2018）*	1,960	47.3	37.6	8.6	3.2	3.2		0.2
平成25（2013）*	2,028	47.5	34.5	10.9	3.4	3.6		0.2
平成20（2008）*	1,954	46.1	36.1	10.7	3.3	3.3		0.5

* 令和元年度以前の調査結果は面接聴取法によるもの。令和5年度調査（郵送法）とは調査方法が異なるため、参考値として示している。

表中の斜線の項目は、該当年度の調査では尋ねていない、又は選択肢がないなど、値が存在しないもの。

出典：文化庁国語課「令和5年度国語に関する世論調査〔令和6（2024）年3月調査〕」

（https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/kokugo_yorinchosa/pdf/94111701_03.pdf、2024年10月15日情報取得）を一部改変

UM

小論文Ⅱ 解答用紙

[illegible][illegible]

--	--